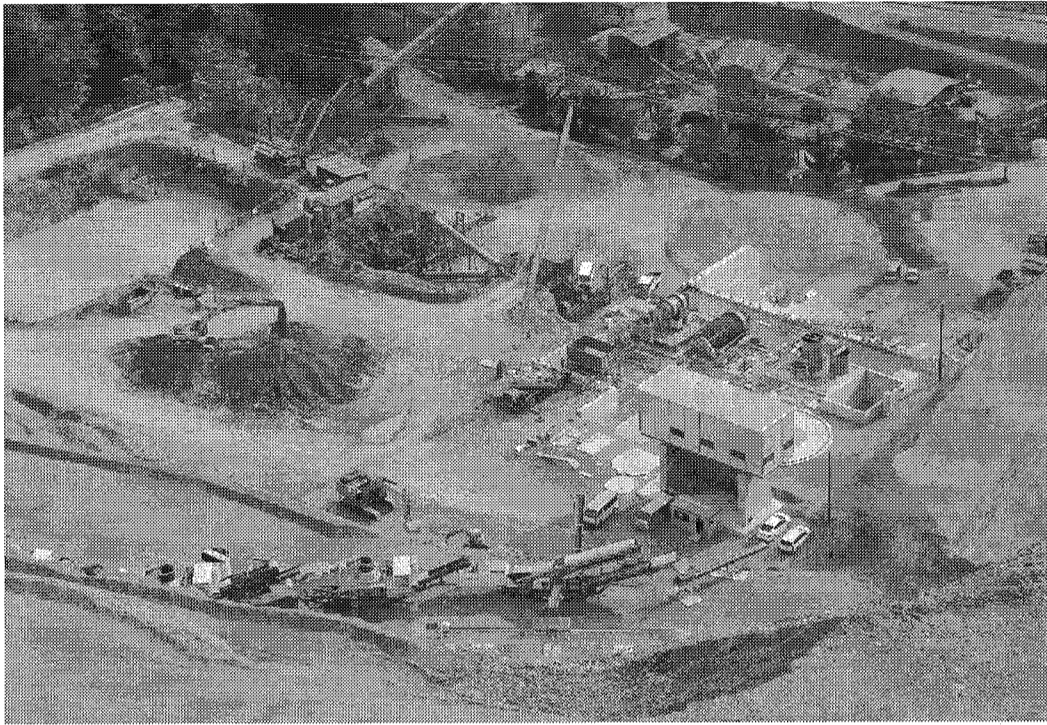


山間部で地産地消の骨材安定供給 豊富な原石背景に新プラント設置



プラント全景。自走式プラントと砕砂プラント(手前)。奥は合材用骨材プラント

リニア吹付コン 材料に骨材出荷

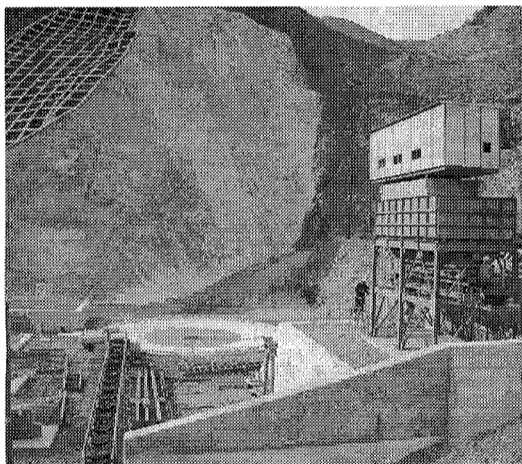
大林和夫社長は「特需 伊那谷での砂利・砂の資
源の調達ソースは限られ
ては、大きな骨材の需要
が見込まれるのに対し、
特需後には資源・砂の供給不足分を砕石

が枯渇することも予想さ
れ、将来に向け、地産地
消の骨材の安定供給を
図るため設備投資を断
行した。生コンや砂利業
者からの要請があれば、
砕石・砂の供給不足分
を砕石

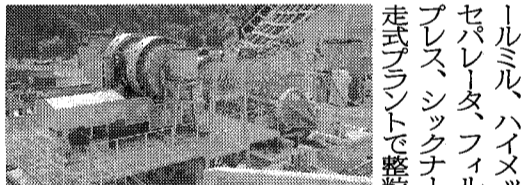
・砕砂で補充したい」と
話す。同社はこれまで
道路向けに排水性舗装
用特6号砕石、年間生
産量は約10万m³と安
定推移する。供給範囲
は険しい山道が多い
伊那谷で約50km²の
中央道建設時のピーク
に及び、中央道では北

砕石、砕砂で 年間20万m³増産

新プラントとして昨年
12月に自走式破砕選別
システム「ロコトレイン」
を導入し、今年6月をメ
ドに湿式砕砂製造設備を
設置する。砕石、砕砂合
計で年間20万m³の増産が
可能になる。製品運搬用
を削減し、生産の変化に

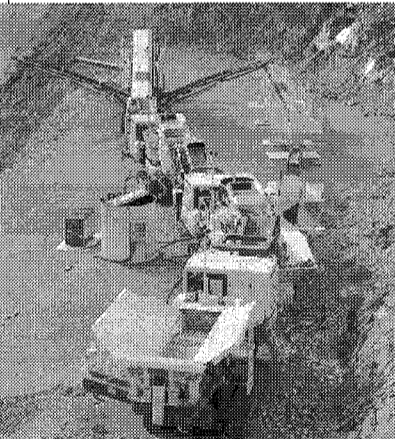


砕砂プラントは6月末までに完成予定



ボールミルとハイメッシュセパレーター

湿式砕砂製造設備はボ
ールミル、ハイメッシュ
セパレーター、フィルタ
プレス、シクナー。自
走式プラントで整粒した
砕砂と、合材用骨材プラ
ントで発生する砕石60号
「LTI106」、コ(13.5ミ
ンクラッシュ「LTI200
HPS」、バーマック「L
TA150」、スクリーン
「ST3.8」の4台で構成
し、切羽の下段に据えて
2005と砕砂を製造す
る。新プラントの年間生
産能力は砕石2005で約
7万m³、砕砂で約6万
m³以上。7月以降に運
転を開始し、順次製品
在庫を貯めていく。品
質については数年前か
ら他工場と同様の設備
に原石を持ち込んで試
験を重ね、粒度や実積率
は安定しており、ユー
ザーの要望に合わせて
調整も可能。今後、
砕石2005についても生
コン用に出荷できるよう
に洗浄設備設置を検討
する。発生する脱水ケー
キは跡地整備の客土等に
用いたり、RCに混入し
たりする考えだ。



自走式破砕選別システム「ロコトレイン」

骨材企業は今

～現状と今後の課題～

大鹿砕石



大林和夫社長

長野県南信地区の伊
那谷(伊那市、飯田市
等)の砕石企業、大鹿
砕石。約40年前の中央
自動車道建設に伴い起
業し、山間部で他地区
からの骨材移入の難し
い伊那谷一帯の道路用
骨材の需要を賅ってき
た。下伊那ではリニア
中央新幹線や三遠南信
自動車道の建設と一
〇年に一度の大型特需
を迎えており、コンク
リートの用骨材の河川砂
利・砂の資源(原石)
不足が懸念される。同
社はこれらの需要に対
応するため自走式プラ
ントや砕砂プラントを
導入し、今年度から生
産を開始する予定だ。
大林和夫社長に今後の
方針を聞いた。

会社データ

設立: 1974年
所在地: 長野県下伊那郡大鹿
村大字大河原5465
社長: 大林和夫
岩石採取場面積: 約33㍍
社員: 30人

上伊那の伊北IC、南は
岐阜県境の阿智村の区間
にわたる。リニアや三遠南信道の
特需は2020年前後に
ピークを迎える見通し。
今年度または来年度には
三遠南信道は着工中の工
区が舗装工事に入り、リ
ニア工事は本体工事の準
備のための山間部の道路
整備が予定される。同社
はリニアの本体工事を含
めたトンネル工事につ
いて、NATM工法の吹付
コンクリート材料で使
する15.5ミリの砕石およ
び5.5ミリの砕砂を供給
する予定である。

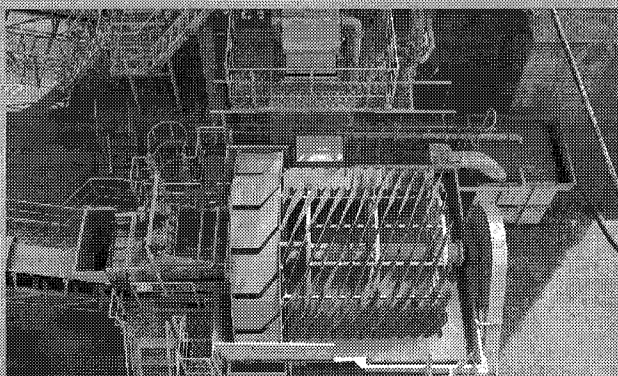
わずかな水で、高品質砕砂に！ 省水分級システム

特許出願済

砕砂の少水量による高濃度分級

特徴

- ・ 清水供給量は従来の1/3~1/4です。
- ・ 微粒分量値を安定化させます。
- ・ 排水量も極端に少量になります。
- ・ 脱水ケーキも減少します。
- ・ 濁水処理装置は小型化(規模により沈殿池方式でも可)
- ・ カーボン除去にも有効です。



株式会社 気工社

弊社ホームページ <http://www.kikosha.co.jp>

本社工場
〒252-0823 神奈川県藤沢市真浦沢15
TEL (0466) 48-3110 FAX (0466) 48-3121
E-Mail elgyoubu@kikosha.co.jp

札幌支店
〒006-0834 北海道札幌市手稲区曙四条2-5-27
TEL (011) 684-8881 FAX (011) 684-8884
E-Mail sapporo@kikosha.co.jp

東北営業所
〒969-2751 福島県耶麻郡猪苗代町大字若宮字村東丙704
TEL (0242) 67-1401 FAX (0242) 67-1402

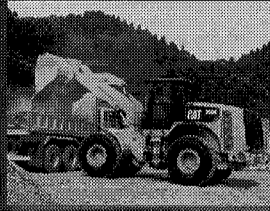
東日本営業所
〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9日比谷
セントラルビル14階
TEL (03) 5532-6220 FAX (03) 5532-8219

西日本営業所
〒812-2011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20
NOF博多駅前ビル2階
TEL (092) 419-2718 FAX (092) 419-2717



クリーンで経済的。 最上のパフォーマンスをすべてのお客様へ。 Cat® Kシリーズ ホイールローダ

最先端の環境性能と磨き抜かれた作業性能。
お客様の期待に応える先進のクオリティを、是非お確かめください。



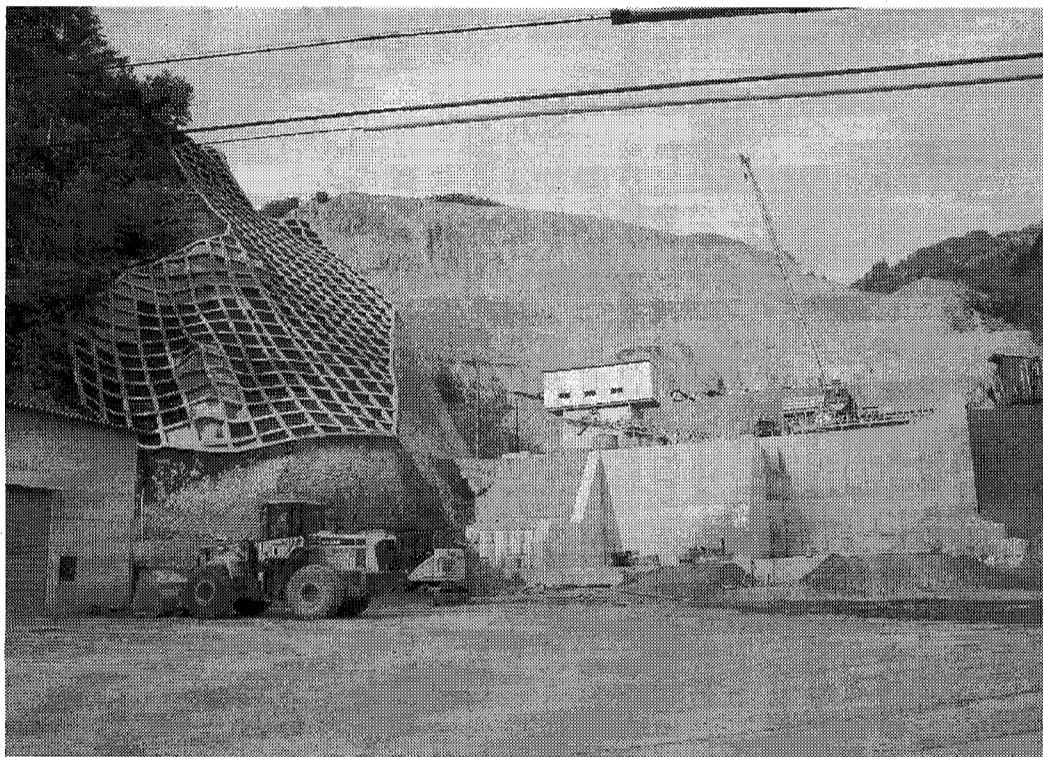
	運転質量 kg	バケット容量 m³	エンジン定格出力 kw (PS)
950K	19,650	3.3	149 (202)
962K	20,600	3.6	164 (223)
966K	24,200	4.2	190 (258)
972K	26,350	4.8	203 (276)
980K	30,900	5.4	257 (349)

キャタピラーイーストジャパン株式会社

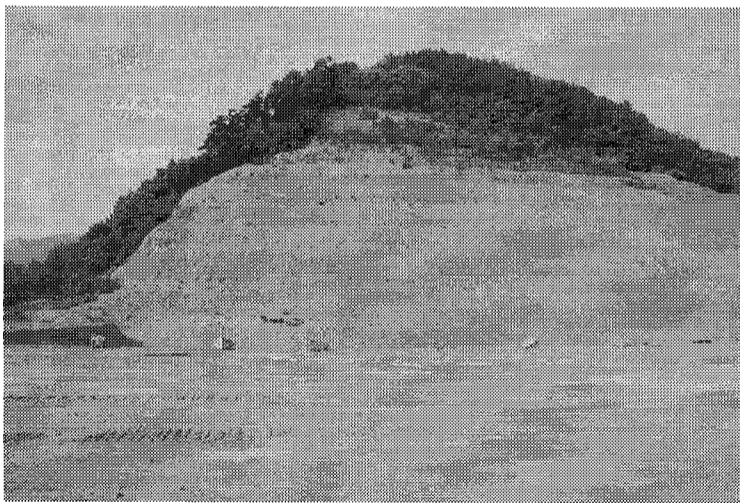
関東支社：千葉県柏市十倉2-313 TEL：04-7133-2111
甲信支店：長野県松本市村井町南4-23-1 TEL：0263-58-5111
飯田営業所：長野県飯田市松尾明7573-1 TEL：0265-23-0330



事務所から切羽を臨む。手前は砕砂のヤード



緑化中の切羽



ダンプ増車し 輸送体制整備

資源は現状の切羽で約700万㎡、認可取得済みの隣接の採石区域で約200万㎡を確保している。大鹿村は南アルプス(赤石山脈)と伊那山脈の地形を分かつ中央構造線上にあり、同社は小波川沿いの片麻岩が隆起する事業所周辺の原石の賦存を確認したうえで開発に着手した。

開発当初の950Lで800Lレベルの敷力所で採掘中。事務所や合材用骨材プラントは680



既存の合材用骨材プラント

を進めており、現在は約800Lレベルの敷力所を確保中。事務所や合材用骨材プラントは680

既レベルにあり、砕砂プラントは一段上の690Lレベルに設置。用地を整備し、残壁にはモルタルを吹付けて擁壁を設けた。

製品輸送では昨年、営業用ダンプを10台増車して運転手を採用し、ダンプ20台体制とした。当社の製品輸送ダンプは全社で営業用ダンプを取得しており、積載量の順守など地元住民の理解を得るために適正な輸送を心がけている(同)。製品はほとんど持ち込み販売で、特需期間に備えて長

野県内や富山県等の同業者の協力により約80台までの増車が可能。ダンプの出荷基地の整備や在庫容量拡大のため、出荷管理センター(高森町)を設け、含み飯田周辺のストックヤード3カ所のうち中川の村のヤードを拡張する予定。在庫容量は3カ所合計で10万㎡以上である。なお、RCプラントは通常のコンクリートから集まりにくい材料として、アスコンが主材料として

野県内や富山県等の同業者の協力により約80台までの増車が可能。ダンプの出荷基地の整備や在庫容量拡大のため、出荷管理センター(高森町)を設け、含み飯田周辺のストックヤード3カ所のうち中川の村のヤードを拡張する予定。在庫容量は3カ所合計で10万㎡以上である。なお、RCプラントは通常のコンクリートから集まりにくい材料として、アスコンが主材料として

野県内や富山県等の同業者の協力により約80台までの増車が可能。ダンプの出荷基地の整備や在庫容量拡大のため、出荷管理センター(高森町)を設け、含み飯田周辺のストックヤード3カ所のうち中川の村のヤードを拡張する予定。在庫容量は3カ所合計で10万㎡以上である。なお、RCプラントは通常のコンクリートから集まりにくい材料として、アスコンが主材料として

FRD 油圧クローラドリル
HCR120D-DV
古河ロックドリル株式会社
関東支店 ☎027(326)9611



世界のベストセラー 「ロコトラックシリーズ」

ロコトラック(破碎機・選別機)の特長

- ジョークラッシャ搭載型
- インパクトクラッシャ搭載型
- コーンクラッシャ搭載型
- クラッシャ&スクリーン搭載型
- スクリーン搭載型

- 採掘コストを大幅低減
- 豊富な製品ラインナップ
- インテリジェントコントローラー標準装備により容易な操作
- 万全のアフターサービス

UBE / 宇部興産機械株式会社

本社&宇部サービスセンター 〒755-8633
(破碎機グループ) 山口県宇部市大字小串沖の山1980番地
TEL(0836)34-5942 FAX(0836)22-6110

北海道サービスセンター 〒007-0837
北海道札幌市東区北三十七条東28丁目6番1号
TEL(011)789-1170 FAX(011)784-4501

東北サービスセンター 〒020-0834
岩手県盛岡市永井20-5-1 OTHビル2階
TEL(019)632-6151 FAX(019)632-6152

大宮サービスセンター 〒331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目175番地10
TEL(048)652-6531 FAX(048)652-6532

大阪サービスセンター 〒567-0036
大阪府茨木市上穂積1丁目2番10号
TEL(072)623-1173 FAX(072)622-6132

URL: <http://www.ubemachinery.co.jp>